



# 大志望峰

## 本気で熱くなった炎翼祭

いつもより長い夏休みが終わり、まだまだ猛暑が続いた8月の後半から、学園祭特別時間割が実施され、本格的に炎翼祭の取り組みがスタートしました。功刀鉄平生徒会長、生徒会本部役員のリダーシップのもと、約2週間にもおよぶ、熱く、厳しい取り組みを通して、とてもいい学びになったのではないのでしょうか。そして、文化の部、体育の部を中心に各部門を通して、思い出に残る最高の2日間を送ることができました。特に、文化の部では日頃から一生懸命に取り組んでいる文化部、3年ぶりの全校合唱と并論、暗唱などの学習成果の発表では塩山中の文化の質の高さを見せてくれました。美術部の力作の絵、科学技術部の化学実験、家庭部の作品とパン屋さん訪問報告、吹奏楽部のコンクール曲披露や楽しいポップス演奏まで、どの部も真面目に地道に一生懸命に活動している様子がわかりました。学年・クラス・全校合唱については、本当に短い取り組みの中でよく頑張っ自分たちの曲を披露していたことに多くの聴衆が感銘を受けたのではないのでしょうか。必死に頑張っ歌っている姿、みんなで同じ目標に向かって努力している姿は美しいし、かっこいいと改めてみなさんから教えてもらいました。

今年も、審査員で来ていただいた塩山南小の竹川美和先生からお褒めの言葉と大切なアドバイスをいただきました。これからの合唱活動等に生かしていただきたいと思ひます。2日目の体育の部では、本気で全力で、そしてベストを尽くして頑張った塩中生の姿がありました。取り組みが始まってからもなかなかエンジンがかからず、グラウンドには先生方や3年生リーダーの熱いアドバイスの声が響き渡り、クラス、学年種目から伝統の創作応援、十字行進と取り組みが厳しい状況でしたが、何とか本番を迎えることができました。当日はどのクラスも、最後まであきらめず、お互い熱い声援を送り、一生懸命頑張っていました。種目の中には、苦手な競技もあり、不安に感じていた生徒もいたと思ひますが、仲間の支えや励ましでみんながチャレンジする気持ちで取り組めたこと、そのことが自分自身とクラス、学年、全校を一步前進させることができたのだと思ひます。2日間の炎翼祭、そして今まで頑張っ取り組んできた日々を通して、生徒たちは、改めて自分のクラスが一番、学年が一番、塩中が一番という気持ちをさらに強くし、全員が主人公となりました。そしてその力が、これから経験する教達検、新人大会、強歩大会などいろいろな行事で自分を支える力となって発揮されるでしょう。

～保護者の皆様へ～ 今年の炎翼祭は、できるだけ制限をなくして開催し、またできるだけコロナ禍以前の形に戻して行いました。何よりも生徒会本部や3年生を始め全校の生徒が、思いきり創作応援を行いたい、全校合唱を歌いたいという思いもあり、今回の炎翼祭の内容となりました。

今回の炎翼祭を開催するにあたっては、私たち教職員も何度も検討しましたが、やはり生徒たちのやる気や成長の一助となることを優先して考えようということで決定しました。生徒たちのために温かく見守っていただき感謝いたします。ご協力とご支援をいただき本当にありがとうございました。



## 新人戦に向かってベストを尽くそう！

いよいよ10月5日、7日に東山梨新人体育大会が開催されます。先輩からバトンタッチされ、2年生を中心にこれまで精一杯頑張ってきたと思います。3年生が引退したので人数も少なくなりましたが、張り切って前向きに取り組んでいる姿がありました（野球部、サッカー部は勝沼中と合同チーム）。あいさつや返事、また一生懸命練習することなど、新チームになって先輩たちを超えようと頑張っている部も多くあります。やはり、さわやかなあいさつをしてくれると、とてもすがすがしい気持ちになります。新人大会は、最初の公式大会なので不安もあり、心も負けてしまいそうになりますが、チームの仲間とともに全力で思い切りチャレンジしてください。目標に向かって、自分たちの力が少しでも出し切れるように頑張りましょう。